

えほんのおへや通信



サンガこども園

2016年9月1日(木)発行 サンガこども園 ☎046-255-0148

8月はかけ足で過ぎました。まだまだ残暑が厳しく、体調を崩しがちです。気をつけましょう。絵本の世界はまだまだ秋色ではないですが、お彼岸がすぎれば秋はもうすぐです。

サンガこども園で定期購読しています福音館書店の月刊幼児絵本「こどものとも」9月号の紹介。

<p>こどものとも 0.1.2 10ヶ月～2歳向き</p> <p>「おひさま ずんずん」 卯月俊光作</p> <p>お山のむこうがぴかっと光って、おひさまがでてきました。「おひさま ずんずん／おひさま ずんずん」と、おひさまがだんだんと空に昇っていきます。</p> 	<p>こどものとも 年少版 2～4歳向き</p> <p>「ママのバッグ」 花山かずみ作</p> <p>ママと商店街へ買い物にきたしゅうちゃんは、「ママのバッグは、赤いバッグ。赤いバッグは、ママのバッグ」と、人混みのなか、赤いバッグを目印にしてママについていきます。ところが・・・</p> 
<p>こどものとも 年中向き 4～5歳向き</p> <p>「ひこぎさんと まほうのじゃがいも」 木村晃彦作</p> <p>食いしん坊のひこぎさんは、「じゃがいもをひとつ畑に埋めておけば5個にも10個にも増える」と聞いて大喜び。さっそく10個の種芋を畑に埋めますが、どうしても芽が出るのを待ちきれません。</p> 	<p>こどものとも 5～6歳向き</p> <p>「あめのひのかえりみち」 岩井真木文 / 五十嵐大介絵</p> <p>ある雨の日、そうくとかいくんの兄弟は、保育園から歩いて帰ることになりました。ふだんはお母さんのこぐ自転車に乗って帰るのですが、あいにく自転車が故障してしまったのです。</p> 
<p>ちいさなかがくのとも 3～4～5歳向き</p> <p>「なにが とおったの？」 進藤恵子作</p> <p>何かが通っていくと、その痕跡が残ることがあります。地面についたたくさんのV字は自転車が通った跡。では、空にまっすぐ伸びる雲や、植木鉢についたぐねぐねとした白いすじは、何が通った跡でしょう？</p> 	<p>他にこんな絵本も購入しました。</p> <p>「はじめてのおつかい」 作：筒井 頼子 絵：林 明子 3歳から</p> 

【雑感】

相模原市は幸いにも比較的自然災害の少ない地域です。当地は相模川の河岸段丘の中段にあります。たとえ相模川が氾濫したとしても、標高70m以上あるこの地は影響はありません。又、平地が多いので土砂崩れの心配もありません。心配と言えば地震と台風くらいでしょうか。

しかし、油断はできません。何かあるかわからないのが災害です。



福音館書店

1977年発行のロングセラーです。5歳のみいちゃんが、はじめて、ひとりでおつかいに出かける様子が描かれています。赤ちゃんの牛乳を買ってきてほしい、とママに頼まれたみいちゃん。100円2つをにぎりしめ、坂の上にあるお店まで、さあ出発。でも転んでお金を落したり、必死に呼んでもお店の人が出てきてくれなかったり、とまどうことがいっぱい…。

この絵本はサンガこども園にあります。古くなり買い換えることにしました。

※年齢は目安です。